



# Newsletter

No.30 (2014.8.6 発行)

## JAICOWS 2013 年度総会議事録

日 時：2013 年 12 月 8 日（日）11：00～12：00

場 所：青山学院大学 青山キャンパス 総研ビル（14 号館）

出 席：岩井宜子、国枝たか子、袖井孝子、田原淳子、鳥居淳子、直井道子、羽場久美子、  
原ひろ子（8 名、50 音順、敬称略）、委任状 46 名

### 議 事

#### 1. 総会の成立について

出席者 8 名、委任状 46 名により過半数（会員数 95 名）を超えていることから、本会が成立することが確認された。

#### 2. 2013 年度事業中間報告

(1) 役員会の開催（2013 年 5 月 22 日、5 月 31 日、7 月 6 日）

(2) 総会の開催（12 月 8 日）

(3) 研究会の開催（5 月 22 日）

(4) ニュースレターの発行（第 29 号）

※注 「春日文子先生のご講演」については紙面の都合により先送りされました。  
この 30 号に掲載されていますのでご覧ください。

(5) 第 23 期日本学術会議会員・連携会員における女性増に向けた取り組み

・女性候補者の推薦要請文書の作成

・ジェンダー関連学協会事務局および男女共同参画学協会連絡会に関係団体への連絡を依頼

・JAICOWS 会員等への周知と協力要請

(6) 他機関との連携・協力

・ジェンダー関連学協会コンソーシアムへの参加

・人文社会科学系諸学会男女共同参画連絡会への入会

・男女共同参画学協会連絡会での講演（8 月 28 日、原ひろ子会長）

・WAN（NPO 法人 Women's Action Network）サイトのミニコミ図書館（電子アーカイブ）への JAICOWS ニュースレター寄贈

<http://wan.or.jp/document/web/dantai/show/id/23>

・内閣府男女共同参画局への情報提供

（「平成 25 年度チャレンジ・キャンペーン～女子高校生・学生の理工系分野への選択～」に協力団体としてアンケートに回答）

・日本スポーツとジェンダー学会第 12 回大会（7 月 13～14 日）後援

(7) その他

・ホームページの更新およびニュースレターのバックナンバー掲載

・JAICOWS 紹介資料の作成、ニュースレター発行日等を加筆

3. 2013 年度会計中間報告（2013 年 11 月 30 日現在）が配布された。

※注 期末の会計決算報告をこの号に掲載したので省略する。

4. 2014 年度事業計画について

役員会より 2014 年度事業計画について提案され、下記事業を行うことが了承された。

- (1) 役員会の開催
- (2) 総会の開催
- (3) 研究会の開催
- (4) 日本学術会議主催のジェンダー関係のシンポジウムについては、会員に参加を呼びかけ、研究会を開催するものとした。
- (5) ニュースレターの発行（第 30 号、第 31 号）
- (6) JAICOWS 紹介資料の整備・広報
- (7) その他

5. その他

- ・次回役員会・研究会は、原会長が 6 月に帰国後、日程を定めることとした。
- ・次期学術会議会員に女性を確保するための方策の検討  
日本学術会議の若手の女性連携会員に対して、入会を勧誘するとともに、次期の推薦を多く行うよう、考えていかねばならず、若手への働きかけをより活発に行うことが確認された。

6. 事務局の移転について

- ・2012 年度より事務局を田原淳子役員に担当いただくことになったが、2014 年 4 月より在外研究に従事されるため、1 年間程度、臨時に岩井宜子会員に事務局を担当していただくことになった。

## 2013 年度会計決算報告

(2014 年 3 月 31 日現在)

### 1. 収入の部

(単位;円)

勘定科目	①予算額	②決算額	差異 (②-①)	備考
繰越金	853,214	853,214	0	
会費	480,000	445,000	△35,000	86 人分 (93.5%)
利子	100	135	35	
寄附	0	100,000	100,000	
収入合計	1,333,314	1,398,349	65,035	

### 2. 支出の部

(単位;円)

勘定科目	①予算額	②決算額	差異 (①-②)	備考
通信費	30,000	21,050	8,950	会費請求書発送費, はがき代等
Newsletter 印刷費	170,000	21,000	140,600	No29
Newsletter 発送費		8,400		
行事費	50,000	30,000	20,000	講師謝金等
会議費	25,000	2,050	22,950	弁当代, 茶菓代等
事務費	50,000	0	50,000	
学会業務委託費	420,000	420,000	0	
予備費	588,314	1,575	586,739	振込手数料等
支出合計	1,333,314	504,075	829,239	
次年度繰越金	0	894,274		

※ 会員数 95 名 (2014 年 3 月 31 日現在)

## 2014年度予算案

### 1. 収入の部

(単位;円)

勘定科目	予算額	備 考
繰越金	894,274	
会 費	500,000	100 人分
利 子	100	
その他	0	
収入合計	1,394,374	

### 2. 支出の部

勘定科目	予算額	備 考
通信費	30,000	会員勧誘切手代, 会費請求書発送費, 総会案内はがき代等
Newsletter 印刷費 Newsletter 発送費	170,000	No30, No31
行事費	50,000	講師謝金等
会議費	25,000	弁当代等
事務費	50,000	
学会業務委託費	420,000	
予備費	549,374	振込手数料等
支出合計	1,394,374	

※ 会員数 95 名 (2014 年 3 月 31 日現在)

## JAICOWS 研究会 第 3 回

JAICOWS 研究会も第 3 回を迎えることができました。  
今回は学術会議国際担当副会長の春日先生にお話を伺うことができました。

### 第 22 期日本学術会議と男女共同参画・ジェンダーの現状

2013 年 11 月 2 日 城西大学において

**春日子子 (第 22 期日本学術会議会員 会議国際担当副会長)  
(国立医薬品食品衛生研究所 安全情報部長)**



この度、JAICOWS の皆様に日本学術会議の国際活動についてお話する機会をもつことが出来て、うれしく思っています。そもそも私は国家公務員として食品安全と医薬品安全を担当する役所に勤務しておりました。厚生労働省です。第 20 期から日本学術会議の会員となり、立場は公衆衛生、健康生活という領域で、46 才の時に思いがけなくも学術会議の副会長に抜擢されました。残念なことに、第 20 期には家政学ジャンルに女性会員はなく、また、第 21 期にはスポーツのジャンルに女性会員がいませんでした。そこでこの領域に委員会を立ち上げたのが仕事のはじまりです。

## 1、日本学術会議の国際的活動 — 二国間交流からG8まで

このような経緯で副会長職を務めておりますが、実際に働いてみると激職なのに驚きました。やりがいもあります。勿論、自分の力量では足りないことが多いのですが、立ち止まってはいられません。会長の大西先生とともに2012年3月ブルガリアに出張しました。首都ソフィアでブルガリア科学アカデミーと日本学術会議という二国間の協力協定を結んできました。

金沢元学術会議会長とサボティノフ前総裁との間で始まった国際研究交流の話が、東日本大震災と原発事故の対外的説明の中で発展して、今後の二国間の研究交流を進めることで合意し、協定の締結に実りました。

このほかにアジア学術会議への積極的な参加、とくに加盟国16か国のとりまとめ役として、日本が事務局をつとめています。トピックとしては、G8（サミット）学術会議と呼ばれている「Gサイエンス学術会議」参加のように海外との連携が盛んになっています。ちなみにG8では2012年で第8回目を迎え、8か国を一巡しましたので新興国などを招待国として参加者を広げていくことになりました。また、大西会長から日本の総理大臣に対して「G8サミットに向けた各国学術会議の共同声明」を手渡すこともできました。

## 2、日本学術会議の国際的活動 — 国内での国際会議を共同主催すること、表敬訪問を受けること

世界から尊敬されて、日本が敬意をもたれるような振舞いをしたい、というのが日本学術会議の国際担当として私が日頃から思うところです。こういう立場から俯瞰的に見ると、海外からの研究者の来日・表敬訪問に対しても、おろそかにはできません。

カナダ王立協会科学アカデミー会長が2013年3月に学術会議を訪れた時も、大西会長と私が心をこめて対応しました。アメリカやヨーロッパで盛んに開催されているSTSフォーラムのアカデミー会長会議が京都で開催されましたが、これにも十分な対応をいたしました。

IAP総会については、事前に十分に準備して、2013年2月リオデジャネイロでの開催の折に行われた選挙で、日本は執行委員メンバーに選出されました。

このほか、カヴリ財団会長、駐日ブルガリア大使ほかの表敬訪問を受けた際にも、学術会議としてしっかりと対応させていただきました。というようにスケジュールはしっかりと埋まっています。

このように、ひとつひとつの丁寧な国際交流が「世界からリスペクトされる日本の学術」をつくりあげる大切なピースだと考えて勤務しております。

国内における共同主催の国際会議を開催することも重要です。毎年7件ほどの共同主催の会議を開催していますが、それぞれに会長または副会長が出席して主催者挨拶を行って来ました。

「持続可能な社会のための科学と技術に関する国際会議」は、上記とは異なり、単独で主催してきましたが、開始10年を経てもなお新鮮かつ重要な研究課題であり、「災害復興とリスク対応のための知」というテーマを掲げて2013年1月に行いました。

## 3、今後の主な課題は2つ

これからの検討課題はたくさんありますが、主なものを選ぶと2つに絞られます。

その1は、「Future Earth」のプロジェクトに日本から参加し、十分な貢献をすることです。このプロジェクトは、2001年にESSPが始まり、その活動が終わった時に新しく出てきた課題で、「人間性を確保する側面」から地球環境を研究するというものです。

2014年にスタートするので積極的に対応したいと考えています。ステイクホルダーとの会話を始めていき、ユネスコ（大使）や国連大学（副学長担当）、ICSU（国際科学会議）、ISSC、と共にコアグループとしての会合を開始して、いずれはアライアンスとして監督運営していく方向をめざしています。

その2は、学会がすでに加盟している国際団体を全体的に見直して、新規加盟も加えてより適切な形で国際協力の結果を出していきたいということです。

運営面からも対外的にもクリアしたいプラクティカルな側面ですが、これも大切なことです。

#### 4、原子力発電所事故の影響に関する国際会議について

わが国が遭遇した原発事故、これは日本にとどまらず、全世界を震撼させた国際的影響をもつ事故でした。発電所事故の教訓や過酷事故発生時における科学の役割、学会や科学アカデミーの役割について、日本学術会議講堂を会場にして国際会議が開催されました。

IAC共同議長、事務局長、7か国のアカデミー代表、ICSU（国際科学会議）会長、学会の関係者、専門家などが世界中から集まり、実りのあるものとなりました。

これを機会にさまざまな形で日本学術会議会員の先生方が国際研究組織において重要な責任を担い、「Future Earth」のような主要なプロジェクトを積極的に推進していただくことを願っています。

（講演の要約は国枝たか子による）

（この号は桜美林大学大学院の直井が係りでした。）

女性科学研究者の環境改善に関する懇談会（JAICOWS）事務局

〒194-0002 東京都町田市南つくし野 4-9-4 岩井宜子

Tel・Fax：042-788-5283

E-mail：yos-iwai@nifty.com

<http://jaicows.fc2web.com/>

女性科学研究者の環境改善に関する懇談会（JAICOWS）学会事務センター

〒162-0825 東京都新宿区神楽坂 4-1-1

株式会社ワールドプランニング 内

Tel：03-5206-7431 Fax：03-5206-7757

E-mail：world@med.email.ne.jp

会費振込口座：郵便振替口座番号 00100-8-542793

ゆうちょ銀行 〇一九(ゼロイチキュウ)店 当座 0542793

口座名義：女性科学研究者の環境改善に関する懇談会